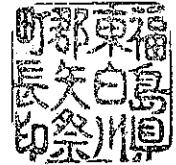


20矢事発第535号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

矢祭町長 古 張 允



「今後の道路行政についての意見・提案」の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号にて依頼ありましたこのことについて、別紙
のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福島県矢祭町

国土の均衡ある発展のため、道路整備は必要不可欠であります。

とりわけ地方においては未だ道路整備が不十分であり、交通量の増加、車両の多様化などに対応できていない現状にあります。

そのため、狭隘、屈曲の甚だしい道路が多くあり、交通事故の発生が危ぶまれております。

今後とも、地方の自立、活力向上のため道路整備の推進はますます必要であると考えます。

②-1 地域の現状と抱える課題

福島県矢祭町

○ 現状

本町中心部を南流する久慈川に沿って水戸市・会津若松市を結ぶ国道 118 号と水戸市・宮城県柴田町を結ぶ国道 349 号を主軸として、県道 3 路線（石井・大子線、下関河内・小生瀬線、矢祭山・八槻線）が周辺町村に連絡しております。町道は 168 路線、延長約 94,500m があり、国道、県道を結ぶ主要な道路網を形成しております。

○ 課題

近年の交通量の増加、車両の大型化及び歩道の未整備箇所などが交通安全の支障となっている。

沿線住民の安全確保のため、道路の改築、改良、交通安全施設の整備が急務となっている。

また、住民の経済圏や生活圏が年々拡大し越県しての通勤、通学や買い物が多くなってきた中で国道の整備は県単位で行われているため、隣県との整備格差が生じている。とりわけ本町は町境の半分以上を茨城県と接しているため、多くの町民から道路整備格差への不満があり、交通渋滞や交通事故が発生しており、国道整備の一元化が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

様式 ③

福島県矢祭町

道路の整備により、災害や病気・ケガなどの緊急時の迅速な対応、地域経済の活性化、人的交流の増進が図られる。
そのうえで、住民の福祉の向上と安心、安全の町づくりを成し遂げたい。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

福島県矢祭町

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
・地域活力の向上	移動時間短縮による地理的条件の改善が図られ農業・商工業や誘致企業の業績が向上する	雇用の創出や町民所得の向上	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	急病人等の搬送や災害発生時の交通が確保される	生命、財産を危険から救う	
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	交通安全施設の施設整備により、安心して外出できる	児童、生徒の通学路、高齢者の通行の際の交通事故の撲滅	